こどもの育ちを支える作業療法

遊ぶ、学ぶ、食べる、人と関わる。
人の日常生活に関わるさまざまな活動を「作業」と呼びます。

作業療法は、「その人らしく生きること」を大切にしながら、健康と幸福につながる日々の作業を支援します。

作業療法士（OT）は国家資格をもつ専門職として、一人ひとりの得意なことや大切にしていることを活かし、その人らしい生活や社会参加を支援します。対象は、年齢や障害の有無にかかわらず、日常生活の「作業」に支援を必要とするすべての人です。

こどもの育ちにおいても、「勉強する」「食べる」「身の回りのことをする」「友達と遊ぶ」といった日々の活動は大切です。

作業療法士は、こども本人と環境、そして日々の活動に目を向けながら、『できた！』『やってみたい！』をふやし、その子らしい育ちを支えます。

その子らしい育ちを
地域のみなさんと一緒に

青森県作業療法士会では、地域でこどもの育ちを支える方々が、その子に合った支援を考える際の一助となるよう、作業療法士の派遣を行っています。

保育園や学童保育、学校などへの訪問支援、5歳児健診、研修会などを通して、地域のみなさんと連携しながら、こどもの育ちを支えていきます。

こどもの視点や発達の理解、活動への参加を支える工夫、環境調整のアイディアなどを共有しながら、その子らしく育つための関わり方を一緒に考えます。

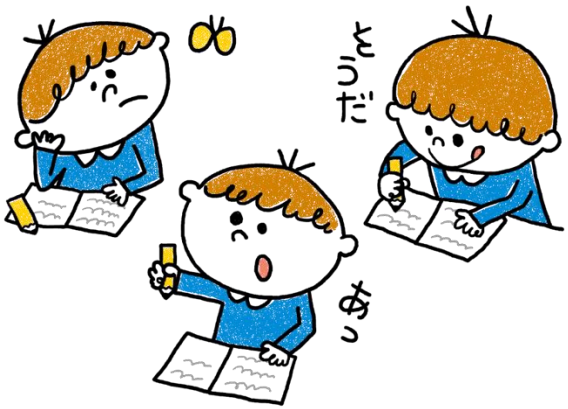
まずはお気軽にお問い合わせください。

＜お問い合わせ先＞
一般社団法人　青森県作業療法士会
こどもの育ちを支える委員会

お問い合わせフォーム		https://forms.gle/6tNtUpS7uUBd1HvS6
メール	kodomonosodachi.aomoriot@gmail.com	

できた！をふやす

こどもの育ちに活かす作業療法



一般社団法人
青森県作業療法士会

2026年9月作成

「できた！」をふやすために、一緒に考えてみませんか？

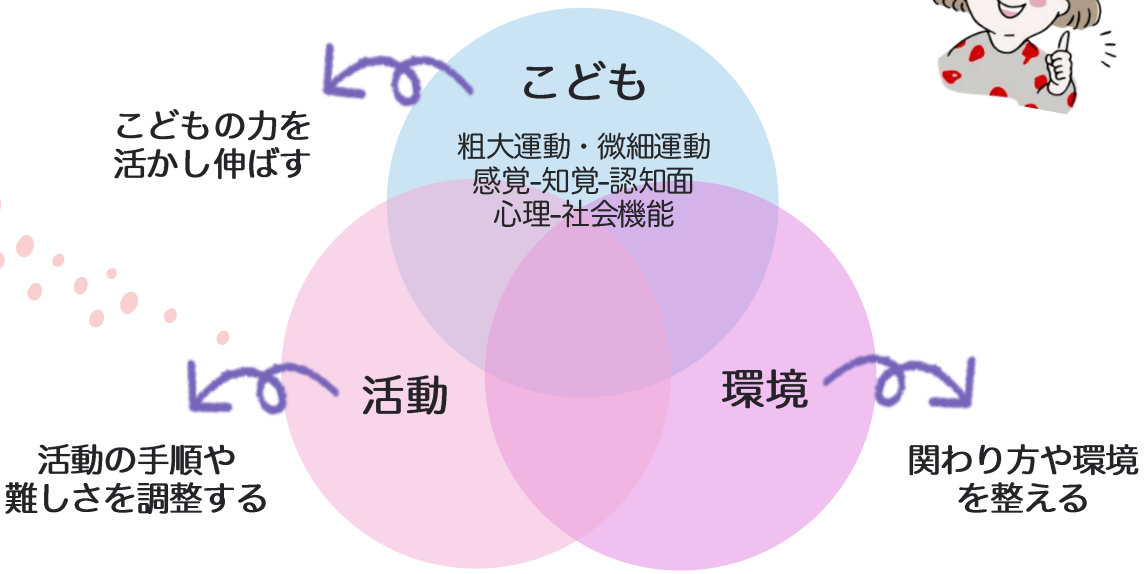
☑ こんな場面はありませんか？

- 集団活動への参加しづらい
- 落ち着いて活動しづらい
- 手先を使うことが苦手
- 学習でつまずきがみられる
- 食事や着替えに時間がかかる
- どのように関わればよいか悩んでいる

作業療法士（OT）は、
『なんで難しいの？』
『どうすれば参加しやすくなるの？』
を考え、対応策を提案します。

☑「できた！」をふやす作業療法士の視点

『こども』『活動』『環境』３つの視点から困りごとの背景を整理し、その子らしく参加し、育つための方法を考えます。



☑ こんな場面で活用できます

訪問支援

保育園や学童保育、学校などを訪問し、支援の工夫や環境調整を一緒に考えます。

研修会

地域でこどもを支える方々に向けて、発達や活動支援に関する学びの場を提供します。

5歳児健診

こどもの育ちや参加の様子に目を向け、必要な支援を考えます。

☑ 作業療法士（OT）派遣までの流れ

1. **お問い合わせ** こちらのフォームから
   内容を確認し、窓口担当から連絡します。
2. **OT派遣依頼**
   OT派遣依頼書を事務局へ提出していただきます。
3. **担当OT通知**
   適任のOTを選出し、お知らせします。
4. **日程などの調整**
   担当OTと日程調整や依頼内容について調整します。
5. **担当OTへ依頼文書送付**
   担当OTと所属施設宛に依頼書を送付していただきます。
6. **OT派遣**
   調整した内容に基づき、実施します。

※②⑤で使用する文書の雛形はお問い合わせ後、ご案内します。